

2025 年 10 月入学・

2026 年 4 月入学〔第 1 回募集〕

広島市立大学大学院 情報科学研究科博士後期課程 学生募集要項

一般入試

社会人特別入試

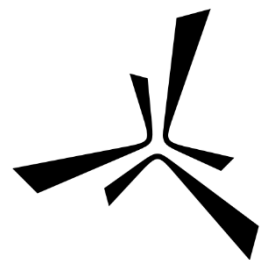
【本学所定様式】

（以下の出願書類は、別途ダウンロードしてください。）

〔A 票〕 入学志願票

〔B 票〕 履歴票

〔C 票〕 受験票・写真票・入学検定料振込証明書貼付票
入学検定料振込依頼書



Hiroshima City University

発行：2025 年 6 月

1 アドミッション・ポリシー

広島市立大学は、豊かな感性と真理探究への情熱を持ち、多様な文化と価値観を尊び、平和を希求する人材を育成します。さらに、幅広い知識と確かな専門性を有し、高い倫理観を持って広く社会に貢献できる人材を育成します。

この目標とする人材を育成するため、次のような人の入学を求めています。

- ・ 人間性豊かで、向学心の旺盛な人
- ・ 知的好奇心と探究心を持ち、知の創造と活用に意欲のある人
- ・ 世界平和と地域・国際社会の発展に積極的に貢献したい人

情報科学研究科では次のような人を求めています。

- ・ 情報科学に関する学理の探究と、科学技術の発展に関心がある人
- ・ 自ら進んで問題に取り組み、その成果を社会に還元する意欲がある人
- ・ 情報科学の探求に必要な数理的・科学的思考ができる人

2 専攻の概要

専攻は、情報工学系、知能情報科学系、システム科学系、医用情報科学系の4系から構成され、以下のような教育・研究を行っています。

- ・ 情報工学系：次世代の情報科学の技術的基礎となるハードウェア・ソフトウェア開発やネットワーク工学の教育・研究
- ・ 知能情報科学系：人間の知的活動の原理を解明し、情報処理の高度知能化や人間とコンピュータの協調を目指した教育・研究
- ・ システム科学系：複雑化・巨大化するコンピュータシステムの統合技術や計測・制御技術の専門的分野の教育・研究
- ・ 医用情報科学系：情報科学及び医用生体工学に関連する学際融合分野における専門的教育・研究

3 授与する学位の種類

博士後期課程では、博士論文の内容により、「博士（情報科学）」又は「博士（情報工学）」のいずれかを授与します。

4 修業年限

博士後期課程の修業年限は3年間とします。ただし、優れた研究業績をあげた者については、1年以上の在学をもって修了を認めることがあります。

5 長期履修学生制度

博士後期課程の修業年限は上記のとおり3年間ですが、入学後の申請により「長期履修学生」として認められた場合は、修業年限を延長して入学時から4年間、5年間又は6年間で計画的に教育課程を履修することができます。この場合、正規の修業年限である3年間分の授業料を、4年間、5年間又は6年間で納入することとなるため、「長期履修学生」となったことによって納入すべき授業料の総額が増加することはありません。

「長期履修学生」の申請ができるのは、原則として社会人特別入試により入学した者に限ります。

6 募集人員

研究科	専攻	入学定員	募集人員（注）	
			一般入試	社会人特別入試
情報科学研究科	情報科学専攻	28名	28名	若干名

（注） 2025年10月入学の一般入試及び社会人特別入試の募集人員は「若干名」です。

7 出願資格・事前審査

(1) 出願資格（一般入試）

次の各号のいずれかに該当する者（①～⑥については、「2025 年 10 月入学」入学試験に出願する者は 2025 年 9 月 30 日までに、「2026 年 4 月入学」入学試験に出願する者は 2026 年 3 月 31 日までに該当する見込みの者を含む。）

- ① 修士の学位又は専門職学位（学校教育法第 104 条第 1 項の規定に基づき学位規則（昭和 28 年文部省令第 9 号）第 5 条の 2 に規定する専門職学位をいう。以下同じ。）を有する者
- ② 外国において修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者
- ③ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者
- ④ 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者
- ⑤ 国際連合大学本部に関する国際連合と日本国との間の協定の実施に伴う特別措置法（昭和 51 年法律第 72 号）第 1 条第 2 項に規定する 1972 年 12 月 11 日の国際連合総会決議に基づき設立された国際連合大学（次号において「国際連合大学」という。）の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者
- ⑥ 外国の学校、第 4 号の指定を受けた教育施設又は国際連合大学の教育課程を履修し、大学院設置基準（昭和 49 年文部省令第 28 号）第 16 条の 2 に規定する試験及び審査に相当するものに合格し、修士の学位を有するものと同等以上の学力があると認められた者
- ⑦ 文部科学大臣の指定した者（平成元年文部省告示第 118 号による。）
- ⑧ 本学大学院において、個別の入学資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で、「2025 年 10 月入学」入学試験に出願する者は 2025 年 9 月 30 日までに、「2026 年 4 月入学」入学試験に出願する者は 2026 年 3 月 31 日までに 24 歳に達しているもの

(2) 出願資格（社会人特別入試）

一般入試の出願資格①～⑦のいずれかに該当し、教育機関又は研究機関・官公庁・企業等において、「2025 年 10 月入学」入学試験に出願する者は 2025 年 9 月 30 日までに、「2026 年 4 月入学」入学試験に出願する者は 2026 年 3 月 31 日で通算して 2 年以上の勤務経験を有する者

(3) 事前審査

(1)の⑦又は⑧により出願しようとする者は、出願資格認定のための事前審査を行いますので、必ず本学アドミッションセンターへ申し出た上で、以下の書類を提出してください。郵送する場合は、**書留速達郵便**とし、封筒表面に「**情報科学研究科博士後期課程・事前審査申請書在中**」と赤字で記載してください。提出先は、4 ページ「**8 出願手続**」の「(4) 出願先及び出願・受験に関する問い合わせ先」を参照してください。持参の場合の受付時間は、午前 9 時から午後 5 時までです。土、日は受付を行いません。

事前審査の結果は、2025 年 7 月 14 日（月）までに本人宛に郵送により通知します。

【事前審査申請書類】

ア 事前審査申請書（本学所定の様式）

イ 最終学校の学業成績証明書

ウ 最終学校の卒業又は修了（見込）証明書

エ 4 ページ「8 出願手続」の「(5) 出願書類等」のうち、②、⑪及び⑫の書類（②は本学所定の様式）

オ 返信用封筒（長形 3 号に申請者の郵便番号、住所、氏名を明記し、110 円分の切手を貼付してください。）

（注 1） 本学所定の様式は申し出により交付します。

（注 2） 提出書類のうち、日本語又は英語以外の言語で作成されたものには、必ず日本語又は英語の翻訳を添付してください。

【提出期限】2025 年 6 月 27 日（金）午後 5 時まで（必着）（2025 年 10 月入学、2026 年 4 月入学共通）

8 出願手続

(1) 事前相談

出願前に、本募集要項等を参照の上、「(4) 出願先及び出願・受験に関する問い合わせ先」を通じて、あるいは直接**指導を希望する教員に研究内容等について事前相談を必ず行ってください。**

「(4) 出願先及び出願・受験に関する問い合わせ先」を通じて事前相談を行う場合は、下記期限までに次の事項を本学アドミッションセンター(nyushi@m.hiroshima-cu.ac.jp)宛に E-mail で送ってください。

件 名：事前相談について（情報科学研究科博士後期課程）

本 文：志願者氏名，指導希望教員名

添付書類：「(5) 出願書類等」にある②履歴票，⑪研究業績書（一般入試出願者）又は業務実績報告書（社会人特別入試出願者），⑫研究計画書（⑪，⑫については作成途中のものでも可）

【事前相談受付期限】2025 年 7 月 4 日（金）

※ 期限後に事前相談を希望される場合は、アドミッションセンターへご相談ください。

(2) 出願期間

2025 年 7 月 14 日（月）から 7 月 18 日（金）午後 5 時まで（必着）

郵送による出願書類の提出については、**出願期限前日の 7 月 17 日（木）までの消印がある書留速達郵便**に限り、期限を過ぎて到着したものも受け付けます。

(3) 出願方法

出願書類等を一括して角形 2 号の封筒に入れ、郵送又は持参の方法により、出願期間内に本学アドミッションセンターに提出してください。郵送の場合は**書留速達郵便**とし、封筒表面には「**大学院入学試験出願書類在中**」と赤字で記載してください。

なお、持参の場合の受付時間は、午前 9 時から午後 5 時までです。

海外から送付する場合は、封筒には「**大学院入学試験出願書類在中**」と赤字で記載し、Express Mail Service (EMS) や DHL 等の追跡サービスのある方法で送付されることを推奨します。

(4) 出願先及び出願・受験に関する問い合わせ先

〒731-3194 広島市安佐南区大塚東三丁目 4 番 1 号

広島市立大学アドミッションセンター

電話 082-830-1503

E-mail nyushi@m.hiroshima-cu.ac.jp

(5) 出願書類等

出願に必要な書類等			作成方法等
①	入学志願票	[A 票]	本学所定の様式に必要事項を記入してください。 記入にあたっては、欄外に記載した「 記入上の注意 」をよく読んでください。
②	履歴票	[B 票]	
③	受験票	[C 票]	本学所定の様式に必要事項を記入してください。
④	写真票		本学所定の様式に必要事項を記入してください。上半身、無帽、正面向き、背景なしの出願前 3 か月以内に撮影した縦 4 cm×横 3 cm の写真の裏面に氏名、生年月日を記入し、のり付けしてください。 ※ 提出された写真は、入学後の学生証及び本学の教務システムで博士後期課程修了まで使用します。

出願に必要な書類等			作成方法等
⑤	入学検定料 振込証明書 貼付票	[C票]	入学検定料 30,000 円を、本学所定の振込依頼書により金融機関の窓口で振り込んでください。A T M (現金自動預払機) は使用できません。振込後、「入学検定料振込証明書」(金融機関の出納印のあるもの) を本学所定の様式の「入学検定料振込証明書貼付票」に貼り付けて提出してください。 なお、ゆうちょ銀行又は郵便局を利用される場合は振込方法が異なりますので、ゆうちょ銀行等窓口にお問い合わせください。 ただし、「2025 年 10 月入学」入学試験に出願する者は 2025 年 9 月に、「2026 年 4 月入学」入学試験に出願する者は 2026 年 3 月に本学大学院情報科学研究科博士前期課程を修了し、引き続き本研究科博士後期課程に進学する者は、入学検定料は不要です。 ※ 海外に居住する志願者は、入金方法が異なります。詳細は出願前に「(4) 出願先及び出願・受験に関する問い合わせ先」に E-mail で問い合わせてください。 【支払手続問い合わせ期限】2025 年 7 月 2 日 (水) (日本時間)
⑥	学部成績証明書		出身大学の学長又は学部長が作成した原本 (コピー不可) を提出してください。高等専門学校専攻科修了者は、専攻科の成績証明書を提出してください。ただし、高等専門学校から大学に編入学した者は、高等専門学校の成績証明書は必要ありません。
⑦	大学院成績証明書		在籍又は出身大学院の学長又は研究科長が作成した原本 (コピー不可) を提出してください。
⑧	修了 (見込) 証明書		在籍又は出身大学院の学長又は研究科長が作成した原本 (コピー不可) を提出してください。 外国の大学等を修了した者で、修了証明書と別個の学位証明書があれば、その原本 (コピー不可) も併せて提出してください。⑦大学院成績証明書に修了年月日が記載されている場合は、学位証明書のみでも可とします。
	【中国の高等教育機関を修了した者は以下の 2 点を提出してください】 ・ 修了証明書 (修了証書ではありません) ・ 中国高等教育学生信息网 (https://www.chsi.com.cn/xlcx/) で修了証書の認証を行い、認証画面を印刷したもの (教育部学歴証書電子注册備案表)		
⑨	修士の学位論文		出願時に修士の学位論文が提出できる者は提出してください。
⑩	【⑨が提出できない場合のみ】 修士論文の要旨 又は研究進捗報告書		修士課程修了者は、修士論文の要旨を A4 判 1 枚程度 (様式自由, 両面可) で記述してください。 修士課程修了見込みの者は、修士論文課題と研究の進捗状況を A4 判 1 枚程度 (様式自由, 両面可) で記述してください。⑨修士の学位論文を提出する者は提出不要です。
⑪	【一般入試】 研究業績書		主要な研究業績 (学術論文, 著書, 産業財産権, 招待講演等) を記述してください。A4 判 1 枚以内 (様式自由, 両面可) で作成してください。 研究業績の記述に当たっては、当該研究業績を特定するのに十分な情報を記載してください。例えば、学術論文の場合は、論文名・著書名・掲載誌名・巻号や掲載ページ等・査読の有無・発表年 (西暦)・概要 (200 文字程度・英文 200 語以下)、著書の場合はその書誌情報等を記載するようにしてください。また、可能な限り、別刷又はその写しを添付してください。
	【社会人特別入試】 業務実績報告書		今までに携わった研究・技術職について記述してください。A4 判 1 枚以内 (様式自由, 両面可) で作成してください。その他、主要な研究業績 (学術論文, 著書, 産業財産権, 招待講演等) がある場合は、当該研究業績を特定するのに十分な情報を記載の上、記述できます。 研究業績を記述する際は、例えば、学術論文の場合は、論文名・著書名・掲載誌名・巻号や掲載ページ等・査読の有無・発表年 (西暦)・概要 (200 文字程度・英文 200 語以下)、著書の場合はその書誌情報等を記載するようにしてください。また、可能な限り、別刷又はその写しを添付してください。

出願に必要な書類等		作成方法等
⑫	研究計画書	本研究科における、研究計画（構想）を A4 判 2 枚以内（様式自由、両面可）で作成してください。
⑬	返信用封筒	受験票送付用の定形封筒（長形 3 号、23.5 cm×12 cm）に郵便番号、住所、氏名を明記し、 110 円分の切手を貼付 してください。 海外に居住する志願者は不要です。

- (注) 1 ①～⑤（〔A票〕～〔C票〕）の様式及び入学検定料振込依頼書は、本学ウェブサイトから所定のPDFファイルをダウンロードし、印刷して使用してください。
様式及び入学検定料振込依頼書の印刷ができない場合は、本学アドミッションセンターに請求してください。
- 2 特別な事情により成績証明書等の提出ができない場合は、これに代わる書類を提出してください。
- (1) 学 部：大学改革支援・学位授与機構（旧大学評価・学位授与機構）から学士の学位を授与された場合は、短期大学成績証明書、専攻科・大学各成績（学位修得）証明書及び大学改革支援・学位授与機構（旧大学評価・学位授与機構）の学位授与証明書又は学位授与申請受理証明書等
- (2) 研究科：外国の大学院修了の場合は、成績証明書・修了証書の写し等
- 3 出願書類のうち、日本語又は英語以外の言語で書かれた証明書等には、日本語訳又は英語訳を添付してください。**
- 4 改姓（名）前の証明書を使用する場合の提出書類について、志願票の氏名と異なる旧姓（名）の記載された証明書も使用できますが、その場合は、改姓（名）の日付と新旧姓（名）を入学志願者本人が記入した文書（様式は任意）を添付してください。
- 5 出願書類の作成・提出に当たっては、自らの責任において、十分に考えたものを提出してください。
- 6 事前審査該当者は、出願書類②及び⑥から⑫までの書類を提出する必要はありません。

(6) 出願上の注意

- ① 必要な書類がすべてそろっていない場合には受理できませんので、出願の際には十分確認してください。
- ② 出願書類受理後は、出願事項の変更は認めません。ただし、氏名、住所、電話番号、E-mail アドレスに変更があった場合には、本学アドミッションセンターまで連絡してください。
- ③ 一度受理した出願書類及び入学検定料は、返還しません。**
- ④ 入学を許可した後であっても、出願書類の記載と相違する事実が発見された場合には、入学を取り消すことがあります。

(7) 受験票の送付

出願締切後、受験票を送付します。海外に居住する志願者には、入学志願票に記載の E-mail アドレス宛に受験票についての通知をします。2025 年 8 月 8 日（金）までに受験票又は通知が届かない場合は、本学アドミッションセンターまでお問い合わせください。

(8) 入学検定料の返還

既納の入学検定料は、次の場合を除き、いかなる理由があっても返還しません。ただし、返還する際に発生した各種手数料は、送金人（志願者）負担となる場合があります。

- ① 入学検定料を納入したが、出願しなかった場合
- ② 入学検定料を誤って二重に納入した場合又は誤って所定の金額より多く納入した場合
- ③ 出願書類等を提出したが、出願が受理されなかった場合

〔返還請求の方法〕

①又は②に該当した場合は、出願先に連絡してください。「検定料返還申請書」を E-mail で送付しますので、必要事項を記入の上、出願先の住所宛に郵送してください。

③の場合は、出願書類等の返却の際に「検定料返還申請書」を同封しますので、必要事項を記入の上、出願先の住所宛に郵送してください。

〔申請期限〕 2025 年 8 月 29 日（金）午後 5 時まで（必着）（2025 年 10 月入学、2026 年 4 月入学共通）

(9) 入学検定料の免除

「広島市内の者」で、入学検定料の納付が著しく困難であると認められる場合は、これを免除します。事前に本学アドミッションセンターに相談し、期限までに申請してください。

(注) 「広島市内の者」とは、次のいずれかに該当する者のことをいいます。

- 1 入学の日の属する月の初日時点で継続して1年以上広島市内に住所(住民登録が必要)を有している者
- 2 入学の日の属する月の初日時点で配偶者又は1親等の親族が継続して1年以上広島市内に住所(住民登録が必要)を有している者

【申請期限】 2025年6月27日(金)午後5時まで(必着) (2025年10月入学, 2026年4月入学共通)

9 2023年4月以降に災害救助法の適用を受けた災害で被災した志願者への特例措置

上記の災害で被災した志願者については、出願後の申請により入学検定料を返還します(出願時には入学検定料の振込が必要です。)。また、合格者については、申請により入学料の減免を受けることができます。

申請手続には本学所定の申請書及び事実を証する書類を要します。詳細については、本学ウェブサイトをご覧ください。

10 受験上及び修学上の配慮を希望する場合

障害のある等の理由で受験上及び修学上の配慮を希望する場合は、2025年6月27日(金)までに本学アドミッションセンターにお申し出ください。申請書の様式をお送りしますので、申請書等を下記申請期限までに本学アドミッションセンターに提出してください。

(申請書の記載内容)

- ① 志願者の氏名、性別、住所、連絡先電話番号
- ② 入試区分、志望専攻等
- ③ 障害等の種類・程度(医師の診断書又は障害者手帳(写)を添付してください。)
- ④ 受験上の配慮を希望する事項
- ⑤ 修学上の配慮を希望する事項
- ⑥ 出身学校での授業等における配慮事項
- ⑦ 日常生活の状況

※ 不慮の事故等のため受験上の配慮を希望する必要が生じた場合は、速やかに本学アドミッションセンターにお申し出の上、申請してください。申請が試験直前であったり、申請内容への対応が直ちにできなかったりする場合には、希望する配慮が行えないこともあります。

※ 申請書に記載された個人情報、受験上及び修学上の配慮内容を検討するために利用します。なお、合格決定に利用することはありません。

【申請期限】 2025年7月4日(金)午後5時まで(必着)

11 個人情報の取扱い

出願書類等に記載された個人情報(氏名、生年月日、性別その他)は、入学者選抜、合格通知、入学手続及び調査・研究(入試の改善や志願動向の調査・分析等)を行うために利用します。

また、入学者についての同情報は、教務関係(学籍、修学指導等)、学生支援関係(健康管理、奨学金申請、授業料免除申請等)の業務を行うために利用します。

上記業務の一部は、個人情報について適正な管理のための必要な措置を講じた上で、外部の業者に委託する場合があります。

12 入学者選抜方法

(1) 一般入試

① 試験期日

日 程	専 攻	試験科目	時 間	試験会場
2025年 8月22日(金)	情報科学専攻	口頭試問	9:00~12:30	広島市立大学 (広島市安佐南区大塚東三丁目4番1号)

※ 口頭試問は表で示す時間の範囲内で実施します。開始時刻は別途通知します。

② 試験科目の配点及び内容等

試験科目（配点等）	学力検査の内容及び評価基準
口頭試問 (ABCD の 4 段階評価)	これまでの研究成果やこれからの研究計画についてのプレゼンテーション(※)を課し、これらに関する試問及び志望する研究分野に関する専門的知識の試問を行います。 大学院入学の動機・意欲、研究能力、専門分野に関する学力、自己表現力、専門的知識の理解度や思考力を評価します。

(※) プレゼンテーションにおいて使用する機器及び時間については、指導を希望する教員に問い合わせてください。

③ 合否判定

口頭試問の成績及び出願書類を総合して行います。

④ 受験上の注意事項

- ア 受験者は、試験開始時刻 30 分前までに指定された試験室に入室してください。
- イ 口頭試問開始時刻に受験者控室に不在であった場合は、欠席したものとして取り扱います。
- ウ 当日は、本学の受験票を必ず持参してください。当日、本学の受験票を忘れた者は、速やかに仮受験票発行所で仮受験票の交付を受けてください。
- エ 試験時間中に使用を許可する時計は、計時機能のみのものに限りです。携帯電話やウェアラブル端末等の使用は認めません。
- オ その他受験者への連絡等が必要になった場合は、受験票送付の際に通知します。また、緊急で受験者に連絡する事項がある場合は、本学ウェブサイトに掲載します。

(2) 社会人特別入試

① 試験期日

日 程	専 攻	試験科目	時 間	試験会場
2025 年 8 月 22 日 (金)	情報科学専攻	口述試験	9:00~12:30	広島市立大学 (広島市安佐南区大塚東三丁目 4 番 1 号)

※ 口述試験は表で示す時間の範囲内で実施します。開始時刻は別途通知します。

② 学力検査の配点及び内容等

試験科目（配点等）	学力検査の内容及び評価基準
口述試験 (ABCD の 4 段階評価)	これまでの研究成果やこれからの研究計画についてのプレゼンテーション(※)を課し、これらに関する試問を行います。 大学院入学の動機・意欲、研究能力、専門分野に関する学力、自己表現力について評価します。

(※) プレゼンテーションにおいて使用する機器及び時間については、指導を希望する教員に問い合わせてください。

③ 合否判定

口述試験の成績及び出願書類を総合して行います。

④ 受験上の注意事項

- ア 受験者は、試験開始時刻 30 分前までに指定された受験者控室に入室してください。
- イ 口述試験開始時刻に受験者控室に不在であった場合は、欠席したものとして取り扱います。
- ウ 当日は、本学の受験票を必ず持参してください。当日、本学の受験票を忘れた者は、速やかに仮受験票発行所で仮受験票の交付を受けてください。
- エ 試験時間中に使用を許可する時計は、計時機能のみのものに限りです。携帯電話やウェアラブル端末等の使用は認めません。
- オ その他受験者への連絡等が必要になった場合は、受験票送付の際に通知します。また、緊急で受験者に連絡する事項がある場合は、本学ウェブサイトに掲載します。

13 合格者発表

2025 年 9 月 3 日（水）正午

合格者に合格通知書を送付します。

また、本学ウェブサイトでも合格者の受験番号を掲載しますが、参考情報ですので、合格者に送付する合格通知書で正式に確認してください。

なお、電話、E-mail、郵便等による問い合わせには応じません。

14 入学手続

(1) 入学手続期間

「2025 年 10 月入学」合格者：2025 年 9 月 4 日（木）から 9 月 11 日（木）午後 5 時まで（必着）

「2026 年 4 月入学」合格者：2026 年 3 月 2 日（月）から 3 月 15 日（日）午後 5 時まで（必着）

(2) 入学手続方法

- ① 入学手続に必要な書類は、「2025 年 10 月入学」合格者には合格通知書発送時に、「2026 年 4 月入学」合格者には 2026 年 2 月下旬に送付します。
- ② 入学手続書類は必ず**書留速達郵便**とし、封筒表面に「**入学手続書類在中**」と赤字で記載のうえ、**入学手続期間内に必着**するよう郵送してください。
- ③ 入学手続期間最終日のみ持参による提出を受け付けます。受付場所は本学アドミッションセンターです。受付時間は、午前 9 時から午後 5 時までです。
- ④ 入学手続を完了した者には、入学手続期間終了後、入学許可書を送付します。

(3) 入学手続上の注意事項

- ① 期間内に手続を行わなかった者については、入学を辞退したものと取り扱います。
- ② 必要な書類がすべてそろっていない場合には受付できませんので、書類の提出の際には、十分確認してください。
- ③ 一度受理した**入学手続書類及び入学料は返還しません**。
- ④ **修了見込みで出願して合格した者は、修了後、速やかに修了証明書を提出しなければなりません。入学日前日までに修了できない場合は、入学を取り消します。**

15 納付金等

(1) 入学手続までに納付するもの

区 分		金 額
入 学 料	広島市内の者(注)	282,000 円
	上記以外の者	423,000 円

(注) 「広島市内の者」とは、次のいずれかに該当する者のことをいいます。

- 1 入学の日の属する月の初日時点で継続して 1 年以上広島市内に住所(住民登録が必要)を有している者
- 2 入学の日の属する月の初日時点で配偶者又は 1 親等の親族が継続して 1 年以上広島市内に住所(住民登録が必要)を有している者

※ 「2025 年 10 月入学」入学試験に出願する者は 2025 年 9 月に、「2026 年 4 月入学」入学試験に出願する者は 2026 年 3 月に本学大学院情報科学研究科博士前期課程を修了し、引き続き本研究科博士後期課程に進学する者は、入学料は不要です。

(2) 入学後に納付するもの

区 分	金 額	納付時期
授業料（年額 535,800 円）(注)	267,900 円	4 月末まで
	267,900 円	10 月末まで

(注) 1 授業料は、2025 年 4 月現在の金額です。改定を行った場合には、改定時から新授業料を適用します。

- 2 「長期履修学生」の授業料（年額）は、修業年限に相当する授業料の総額を、長期履修期間の年数で除して得た額になります。（「長期履修学生」については 2 ページ「5 長期履修学生制度」を参照。）

(3) 入学料・授業料の減免等

① 入学料の減免

次のいずれかに該当し、入学料の納付が著しく困難であると認められる場合には、入学料の減免を受けることができます。入学手続までにご相談ください。

ア 入学前1年以内に、学資を主として負担している者が死亡した場合

イ 入学前1年以内に、入学する者又は学資を主として負担している者が風水害等の災害を受けた場合

ウ 入学する者が「広島市内の者」であり、生活保護法の規定による保護を受けている世帯に属している場合

② 授業料の減免又は徴収猶予

経済的理由により授業料の納付が困難であり、かつ、学業優秀であると認められる場合には、授業料の減免又は徴収猶予を受けることができます。詳細は、本学ウェブサイトでご確認ください。

(4) 「ひろしま DX 人材育成奨学金」について

合格者（社会人特別入試合格者は除く。）は、広島県の事業である「ひろしま DX 人材育成奨学金」に応募することができます。本奨学金は大学を通してのみ応募可能です。

過去の募集については本学ウェブサイト（<https://www.hiroshima-cu.ac.jp/campuslife/content0004>）に掲載していますので参考にしてください。

【ひろしま DX 人材育成奨学金の概要】

貸付金額：月額5万円（無利子）

貸付期間：修学生に適用される修業年限内。ただし、6年間を上限。

返還免除の要件：修了後、9年間のうち8年間、県内企業等に就業しDX推進に資する業務に従事した場合は、貸付金の返還を全額免除します。県内企業等への就業期間が8年未満の場合は、期間に応じて返還を一部免除する場合があります。

奨学金の詳細につきましては、広島県のホームページをご確認ください。

（<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/soshiki/72/dxchallenge-koubo.html>）

ご不明点等ございましたら広島県商工労働局産業人材課人材育成グループ（TEL：082-513-3420

E-mail：syojinzai@pref.hiroshima.lg.jp）へお問い合わせください。

研究分野

系	研究指導単位	指 導 内 容	担 当 教 員	
情報工学系	コンピューティング	リコンフィギャラブルシステムの設計と応用	教 授	○弘 中 哲 夫
		ディペンダブルコンピューティング	教 授	○井 上 智 生
		論理設計とスイッチング回路理論	教 授	○永 山 忍
		ストカスティックコンピューティング	教 授	○市 原 英 行
		プログラミング言語処理系とソフトウェア開発環境	准教授	川 端 英 之
		量子コンピューティングの理論と応用	准教授	ルカック・マーティン
	コミュニケーション	通信サービスの高信頼化，通信プロトコルの高度化	教 授	○石 田 賢 治*
		大規模複雑ネットワークの分析と制御	教 授	○高 野 知 佐
		通信ネットワーク制御の設計及び高度化	教 授	小 畑 博 靖
		暗号アルゴリズム設計及びセキュリティシステム構築	准教授	稲 村 勝 樹
	センシング	ワイヤレスネットワークと電波センシングシステム	教 授	○西 正 博
		モバイルネットワーク	教 授	大 田 知 行
		自律分散制御のためのネットワークソフトウェア	准教授	舟 阪 淳 一
		3D原子イメージング科学の先端センサ材料創成への応用	准教授	八 方 直 久
		高信頼な無線通信方式と電波測位方式	准教授	高 橋 賢
		無線ネットワークと電波応用システム	講 師	小 林 真
知能情報科学系	データ科学	グラフ構造データに対する機械学習法とデータマイニングへの応用	教 授	○内 田 智 之
		代数多様体の理論とその情報科学分野への応用	教 授	○齋 藤 夏 雄
		非構造化データからの知識発見とその工学的応用	教 授	○田 村 慶 一
		多次元データベースとその応用	准教授	黒 木 進
		知識発見における機械学習手法とグラフ理論の応用	准教授	宮 原 哲 浩*
		機械学習を用いたグラフ構造化データからの知識発見とその応用	講 師	鈴 木 祐 介
	人間情報学	生物的適応システムのモデル化とその工学的応用	教 授	○原 章
		先進的学習支援システム及び感性工学における学習理論	教 授	○松 原 行 宏
		知的検索インターフェースと実社会データへの応用	准教授	梶 山 朋 子
		計算知能システムに関するモデリングと実データへの応用	准教授	鎌 田 真
		VRとfMRI を用いた感情及び社会性に関する研究	准教授	河 田 人 美
		生物集団行動の数理モデリングと群知能システムへの応用研究	准教授	白 石 充 梓
		学習分析・教育データマイニングにおける教育・学習支援	准教授	毛 利 考 佑
		AR/VRを用いた学習支援手法及びシステム実装に関する研究	講 師	岡 本 勝
	知能情報学	音声言語情報処理と自然言語処理	教 授	○竹 澤 寿 幸**
		情報理論と情報統計力学	教 授	○三 村 和 史
		学習機械の確率的特性解析	准教授	岩 田 一 貴
		数理モデルによるヒト行動モデリング及びデータサイエンス	准教授	下 川 丈 明
		物理現象の解析にもとづくコンピュータビジョン技術	准教授	宮 崎 大 輔
		感情情報処理とマルチモーダルインタラクションシステム	准教授	目 良 和 也

系	研究指導単位	指 導 内 容	担 当 教 員	
システム科学系	数理システム デザイン	確率制御理論とその応用	教 授	○田 中 輝 雄
		組込みシステムの形式的検証及び設計最適化	教 授	○中 田 明 夫
		代数多様体の分類理論，特異点理論	准教授	廣 門 正 行
		関数近似と変数変換の開発・改善とその応用	准教授	岡 山 友 昭
		進化アルゴリズムと組合せ最適化	准教授	村 田 佳 洋
		環境情報取得とその制御	准教授	福 島 勝*
		量子情報における数理構造とその応用	准教授	桑 田 精 一***
	人間・ロボット 共生	人間-機械-環境系の最適設計と救急搬送技術への応用	教 授	○小 野 貴 彦
		インテリジェント制御システムの設計	教 授	○小 寄 貴 弘
		人間-ロボット間の相互作用，人間と協調する自動運転	教 授	○池 田 徹 志
		バーチャルリアリティ及び複合現実型実応用	准教授	脇 田 航
	インタフェース デザイン	サウンドデザインとその評価，適応音響制御，心理音響	教 授	○石 光 俊 介
		フィジカルAI，ロボットビジョン，車椅子ロボット	教 授	○李 仕 剛***
		マルチエージェントシステムとその応用に関する研究	准教授	神 尾 武 司
		分散システムのためのソフトウェア技術	准教授	島 和 之
		音響認識システム，非定常音を対象としたブラインド音源分離	准教授	中 山 仁 史
医用情報科学系		計算機実験による金属タンパク質の機能発現機構の解明と応用	教 授	○鷹 野 優
		定量的画像バイオマーカーの標準化と画像評価手法	教 授	○松 本 圭 一
		マイクロマシンデバイスとその医用応用	教 授	○式 田 光 宏
		高精度で脳機能ダイナミクスを読み取る非侵襲ブレインマシンインタフェース	教 授	○樋 脇 治
		情報通信技術の医療・ヘルスケアシステムへの応用	教 授	○田 中 宏 和
		病気の診断に用いるバイオセンサーの開発	准教授	釘 宮 章 光
		視覚情報処理の基本原則とその視覚情報計測技術への応用	准教授	中 野 靖 久*
		ヒトの認知・運動機能に関する計算論的研究	准教授	福 田 浩 士
		生体信号の計測・解析とその医工学・福祉への応用	准教授	常 盤 達 司
		医薬品設計に向けた物質変換反応の計算化学的研究	准教授	齋 藤 徹
		MEMS技術とそれの生体情報計測への応用	准教授	長谷川 義大
		発光ダイオード（LED）の生物，化学，農業への応用に関する研究	准教授	香 田 次 郎
		MEMS・集積マイクロシステムとその医用応用	講 師	アル・ファリシイムハンマド・サルマン

(注) 1：担当教員及び指導内容は2025年6月1日のものです。

2：○印は主指導教員です。

3：*の教員は2026年3月末で退職予定ですので，志望にあたり留意してください。

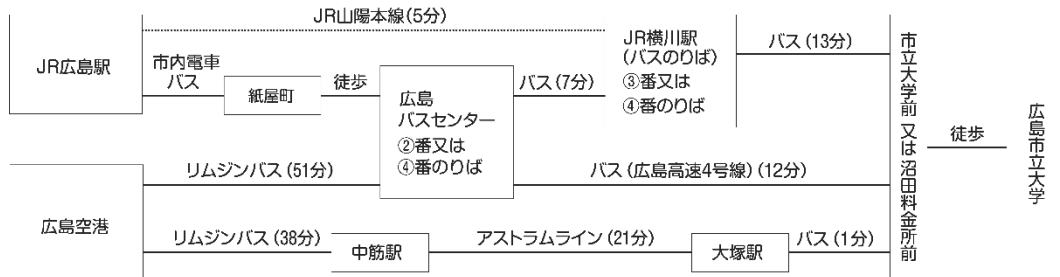
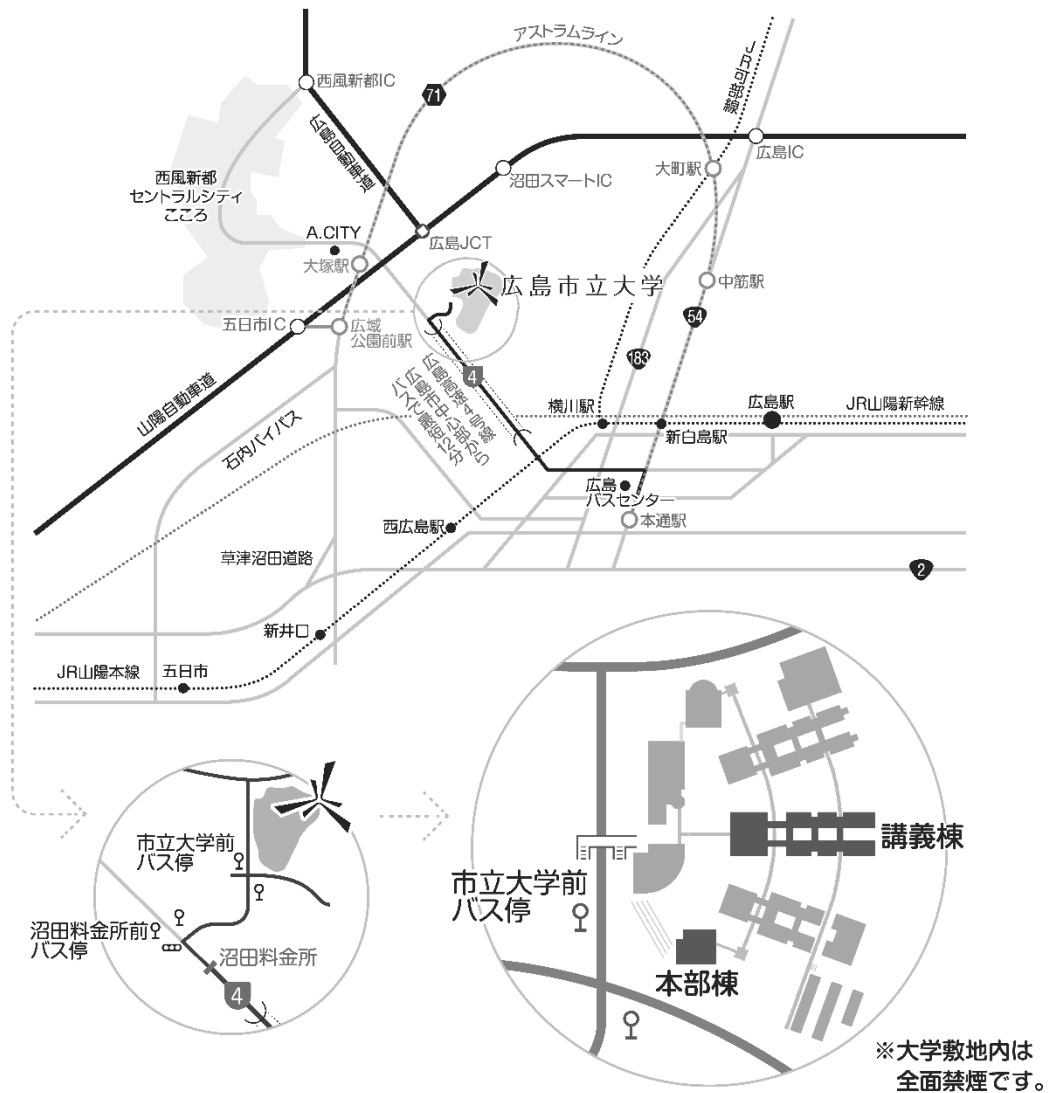
4：**の教員は2027年3月末で退職予定ですので，志望にあたり留意してください。

5：***の教員は2028年3月末で退職予定ですので，志望にあたり留意してください。

【社会人学生への配慮】

本研究科博士後期課程では，開講する科目を必要に応じて夜間に実施するなど，高度な専門の学術知識の修得を目指す社会人が在職のまま大学院へ進学し得るよう配慮します。

広島市立大学試験会場案内



※「市立大学前」バス停から大学までは徒歩すぐ、「沼田料金所前」バス停から大学までは徒歩8分かかります。

- 所要時間は目安です。
- 広島バスセンター発「くすの木台」方面行きのバスは、「市立大学前」バス停を経由します。
広島バスセンター発横川駅経由「花の季台」・「こころ西風梅苑」・「こころ産業団地」・「こころ南中央」方面行きのバスには、「市立大学前」バス停を経由する便としない便とがあります。「市立大学前」バス停を経由しない便では、「沼田料金所前」バス停で下車してください。